

刊夕日八十月五

常磐每日新聞

定価一圓五錢
 電話六八五番
 發行所 常磐毎日印刷株式會社
 印刷所 常磐毎日印刷株式會社
 電話六八五番
 發行所 常磐毎日印刷株式會社
 印刷所 常磐毎日印刷株式會社

園藝の話 (四)

中野農人

山草熱の物興

愚まで御機嫌を取つて歡待されたら、山草たるもの義理でも柔順に成育しなればならぬ、山草栽培難は今は殆んど無くなつたから、誰でも食指を動かす事が出来るのだ。然し近來採取禁断の恐い綱の目を潜つて山草を採收し、ドシ、都會へ山出しをして來る、縁日や、夜店で賣つてゐるのが夫れだ、其内一番多いのが岩高蘭、梅櫻、黑豆の木、峯蘇枋、根は生の水苔でくるんで、根張り完全のやうに見えるが、根が安いの引摺られて買つて見ると、根は引つこぬきの親根が少し附いてゐるばかり、結局水苔の球だから、如何なる着婆鳥でも、郭窠駄やブアバンクでも、之を活すといふ事は、奇蹟以外に出来るものではない、安物買の何んとやら、百本が百本活かない事は請合である。僅かに切抜物の姫石南蔓越橋位が、どうやら物になる位、白樺、岳樺なども先づ、此方の物として取止めるだらう。

かけた麻裏から吊された、石決明貝を古渡の交趾の鉢とも見て、それに植えられた虎耳草、金銀草と言はれるのも頼母しく、子に子が殖えて、赤い蔓の先に、我と同じ小植物が懸垂する風情を眺めると、九尺二間の侘住居は即ち神仙の居である。之を金殿玉樓に瑠璃の杯を擧げて、琥珀の酒の豪快に誇りつゝ、内外に護衛の金剛力士を附して、内心ビクビクしてゐる手合に比べたら、眞の人間の玲瓏たる淨らかさと、強さといふもので、明瞭と意識される。石決明貝の虎耳草、それでも立派な園藝である。萬金を以て圍つた温室園藝のみが園藝の誇りではない。金錢を以て購ひ得ぬ處に、園藝の樂しみと誇りがある。

單に花卉園藝のみでない例へば、ビール箱を利用して屋上に蔬菜園を設け、二十日大根や、小松菜を作つたり、藜や粗糠の蒸熱物で豆促成を作り、或は鉢植で蕃茄を作る、芽が吹いて伸びて來て、花が咲き實が成る其間の朝夕の樂しみと云ふのは、全く壽命が延びるやうで、花なり蔬菜なりに對してゐる間は、人間の邪念が霧化して植物と同化する處に、何物も替へ難き尊さがある。



生活線

山崎 小舟

人間は毎日に生活線の向上を計る静かに内に聴くもの謙虚な心で絶えず内省するもの

人間生活の本來の理想はその一步を進むことに更に伸びんとする

本然の生命はその中に潜む最も美しいものを見出し理想から實現へ生命の充實を計るかくて人間の生活線は向上する

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

電話三七〇

露披御車新

三四年型テラックスセダンを
 入荷致しました
 貸切の御用命の節は
 電話六八五番へ……
 是非御試乗の程を願ひます

三井タクシー
 電話六八五番

吸入用酸素純度99%

度量衡
 モノサシ
 マス
 ハカリ
 器量計
 寒暖計

關内藥局

寫真材料一式販賣致シマス

電話四〇番

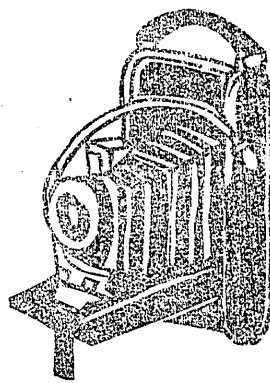
新型洋品豊富

- ツター.....85
- カッター.....30
- アンダー.....95
- 折レクタ.....25
- 中ベネ靴割エ申メトバ.....30
- 煮ブロ.....10
- 又.....65
- リヤシ.....20
- ニシヤツ.....20
- ミンダツ.....50
-1.25

平町二丁目【電話六〇五番】
 山家メリヤス店

春!

カメラファンの活躍期です



MSカメラ

平 前
 いづみや玩具店
 カメラ部

◎御家庭薬として是非御用意下さい
 熱い火や湯でヤケドなされた時直ぐツケますればヒブクレにならずなほります
 キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さい。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキレイに治ります。

キリ印 (ヤケド キリキズ) 太乙膏 (ヒブクレ あかざれ) シモヤケ たざれ
 平町古銀治町一〇 専賣店

阿康藥舖

電話四四番

聘招員社給有

三井生命保險株式會社

外務社員 拾名
 監督社員 三名
 駐在地ハ福島縣内ニシテ本人ノ希望地
 東京市日本橋區室町三井第二號館
 入社御希望ノ方ハ左記出張所へ履歴書提出セラレタシ
 ▼平出張所
 福島縣平町銀治町二九【電話五〇三】

咽喉科専門

平町田町七〇番地
 山内醫院
 醫學士 山内亨吉
 電話六九一

恐怖? 八幡小路の怪事件

古井戸のうめき聲

幽霊の正体みたり瘦牡丹

初夏の夜話に應はしい怪談(?)
一つ……
八幡小路區長鍋田三重氏の宅の裏の古井戸から軒下三寸下の丑満時になると決つて若い女の呻き聲が聞える……といふ誰言ふとなく噂が数日前からバツト擴がつた、さア何せ人家稀な八幡小路のことだ、近所の悪戯盛りの子供達も夜になると流石に恐ろしく寝付かれない『昔若い女がこの井戸に身投げしたのだ』『いや美人がこの邊で行倒れになつたんださうだ』……獵奇の潮流に掉さして噂は噂を呼んで謎は大きくなり果ては探險隊を組織してこの怪物の正體を種めやうといふ騒ぎに勇敢な? 鍋田區長も意を決して昨夜單身の古井戸に繩梯子を降して調査したところ五丈餘の底の正體は、何と一匹の牡犬だつた、流石勇敢な鍋田區長もダアとなつたが汗のワン公、古井戸の底に誤つて轉落したのか、捨てられたのか知らぬが兎に角數日間の空腹にヨタ／＼として悲鳴を擧げて

初夏の獵奇話

初夏の夜話に應はしい怪談(?)
一つ……
八幡小路區長鍋田三重氏の宅の裏の古井戸から軒下三寸下の丑満時になると決つて若い女の呻き聲が聞える……といふ誰言ふとなく噂が数日前からバツト擴がつた、さア何せ人家稀な八幡小路のことだ、近所の悪戯盛りの子供達も夜になると流石に恐ろしく寝付かれない『昔若い女がこの井戸に身投げしたのだ』『いや美人がこの邊で行倒れになつたんださうだ』……獵奇の潮流に掉さして噂は噂を呼んで謎は大きくなり果ては探險隊を組織してこの怪物の正體を種めやうといふ騒ぎに勇敢な? 鍋田區長も意を決して昨夜單身の古井戸に繩梯子を降して調査したところ五丈餘の底の正體は、何と一匹の牡犬だつた、流石勇敢な鍋田區長もダアとなつたが汗のワン公、古井戸の底に誤つて轉落したのか、捨てられたのか知らぬが兎に角數日間の空腹にヨタ／＼として悲鳴を擧げて

商友會會長に室橋副會長昇格

昨夜の臨時總會で決定

既報平商友會臨時總會は昨夜七時よりマルトモホールに於て開催、會長菅本利雄氏の辭表受理及び記念品贈呈の件を可決續いて後任會長は學校側より矢野顧問服部、中村兩理事會員側より鈴木武雄、鈴木義忠、金子浩、三土屋好守、牛久英坂本忠治の諸氏を詮衡委員に擧げ別室に於て種々協議した結果會長に現副會長室橋光氏、副會長に現理事比佐三郎氏を推薦一同に諮りたる處萬場一致拍手裡に可決就任し直ちに末廣亭に於て新舊會長の歡送迎會を催した、因に室橋新會長は田町玉屋洋品店主にて永らく副會長の責を擔ひ商友會の進展に貢献多く温厚の資性は會員間に信望を博し會長

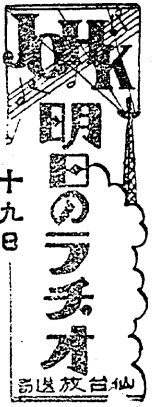
本町通り

軍樂隊行進

市民に敬意

廿五日の演奏會

昨報一平町在郷軍人分會が招聘した木會軍樂隊は二十五日午後一時小名濱町より自動車で來平町五丁目角(吉田屋料理店前)で下車一同整列の上、島田少佐のタクトに依り隊員三十三名四列縱隊となつて勇壯なる行進曲を奏でつゝ本町通りを一丁目まで行進して市民に敬意を表し午後二時半より磐城高等女學校々庭に於て



明日のラジオ

今晚の部
後六、〇〇 極東水上競技
實況(第六日)マニラより
中繼
後六、二五 基礎佛語講座
丸山順太郎 講演の夕
後八、〇〇 最近國際政局

明日の部
の動向法學博士山川端夫
後八、三〇 阿部房次郎
後九、〇〇 管絃樂日本放送交響樂團
後九、三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組豫告

後六、三〇 基礎佛語講座
(十八)橋本忠夫
後七、二〇 學典講義 玉
置箱晃
前九、二〇 料理獻立 支
那料理 佐藤百合子
前一〇、三〇 家庭婦人講
座 箒曲(六)宮城道雄
後一〇、五〇 謠曲 實生重
英
後一、五〇 野球試合實況
東京大學早稻田對明治神
宮より中繼
後二、〇〇 家庭講座「母

から見た子供の美術」棟方
寅雄
後三、三〇 大角力夏場所
實況(九日目)兩國國技館
より中繼
後六、〇〇 極東水上競技
大會實況(第七日)マニラ
より中繼
後七、三〇 少女歌劇 立
松英子外大勢
後八、〇五 俚語
後八、二〇 連續講談 第
一席「堀部安兵衛」田邊
南龍
後九、〇〇 時事解説

氷水屋が

平署で總會

平署管内氷水屋組合では今十八日午前十時から平署會議室に於て總會を開き價格の統一取引製氷組合の指定その他に就き協議したつて横山署長の衛生上の訓示があつた

歸郷途中

木賃宿で頓死

當時住所不定久慈郡太田町字壽町一〇生れ大工夫吉澤吉次郎(七)は昨年未漂浪の末兄弟分に當る平町立町鈴木綱五郎をたよつて同家に厄介になつてゐたが去る三月中旬頃より肺結核が充進し救護者として役場から毎日若干の救護費を與へてゐた處吉次郎は去る四日郷里に歸りたいとて役場から旅費を受けて出發し昨日午後六時頃勿來町北町木賃宿石原フデ方で頓死した同町では取り敢へず假埋葬に附した旨平署並に平町役場に通知あつた

裁判所たより

△茨城縣多賀郡豊浦町宇川尻生れ住所不定無職鈴木紋吉(七)は昨年二月より本月上旬迄に湯本町字諏訪崎松永クニ方外三十三ヶ所より現金卅五圓衣類四十四点時價八十餘圓分を窃取した公判は本日午後一時より平區裁判所法廷で關口判事係り野木檢事立會にて開かれたが即決裁判により懲役一年の言渡された

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
平町田町
電話五八番

- △女理髮職 十五一十八才 位 尋卒 仕着小使
- △自動車修繕工 十八才 高卒
- △炊事婦 五十一才 無學
- △商店員 二十九才 尋卒
- △石工 四十二才 高卒
- △石工 二十八才 尋四修
- △土工 四十五才 中二
- △配達夫 二十六才 高卒

浮名比調書 遷斬首頭

(榮華無上段及上段)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

三五

法華無理を言ふ
「貴女に迷惑を掛けやうと云ふ法華長兵衛の手段でございませうから此處の所は月に五つ来るものは三つ、三つ来るものは一つにして我慢してお呉んなさい」

長兵衛は高窓花魁に向ひ
「若旦那とも末は斯うと深い約束をした情交だと云ふから、お前も若旦那の爲を思つて、なるだけ呼ばない様にしてお呉れ」

「ハイ畏まりました」
「若旦那が朝六つに歸ると云つたら、七つに御返し申す様それも一人や二人じゃア不可んから五六人の供をつけて返して御呉れ」

とかね、頼んで居ります、其處で庄次郎は繁々通はなくなつたから法華長兵衛が出逢ひませんでした時は三月櫻時七軒の兵庫屋で法華長兵衛の乾分の四天王高窓花魁番頭新造禿者幫問の大一座、眞つ晝間ドン

騒いで居る處へ、淺見屋吉兵衛の處から
「あの御馴染の御客故、少々高窓花魁をお貸しなすつて下さいまし」

と花魁を連れて往つた、その時分馴染の客と云ふ貸さないと云ふ譯に行かぬ

かつたものと見えます、長兵衛は惚れて居ると云ふではないが、肝心の花魁を連れて行かれて見りやア餘り面白くないから、欄干へ臂を掛けて下の様子を見てゐる

「お饒舌〜」
「ハイ〜オヤ親方さんでしたか、久しく御目に掛りません」
「少し用があるから上れ」
「ハイ……」
二階へ上つて来て一同へ挨拶をいたした、
「さア〜おしやべり一つ飲め」
「ハイ有難う存じます」
「何處へ往つた」
「會所まで参りました」
「然るか乃公は何も嫉妬を



と流石花時分の事でございませうから、往來は織るが如くの賑やかさ、處へ下を通り掛つたのは淺見屋吉兵衛の家のお饒舌と云ふ女、饒舌りと言ふ名もないが、能く饒舌るからお饒舌りと云ふ。

起す譯ぢアねえが、花魁を連れて行かれて見りやア餘り好い心持しやアねえ、御馴染てへのは誰だ何處の人だ
「ハイあの本多……」
と云ひ掛け
「イエ、何んでございませう

よ、炭焼の大盡で、大變花魁を買つてる方でございませう」
「虚言を吐け、本多のと云ひ掛けて、炭焼の大盡と云ひ直したは、本多の家來庄次が來たらだらう」
「イエあの方は久しく見えません」
「隠すな〜、ソレ行け」
「心得たり……」
と云つて立ち上る
「イエ全くさうぢやアございません」

と云ふ内にもし梯子をドンドン〜と滑り落ちて來るおしやべりは驚いて家へ飛んで來た。
「サア御内儀さん大變な事が出來ました、今兵庫屋さんの二階で斯う〜で今法華長兵衛が來ますから、早く花魁を御逃しなすつて下さいまし」
「マア飛んだ事をしやべりやアがつかぢやないか、竹治」
「ハイ……」
「和郎幡隨院の門前へ往つて、直ぐ長兵衛さんと呼んで來てお呉れ、萬一居なかつたら清兵衛さんでも好いから」

漆器の御用は皆様の丸共へ御用命下さい……
卸賣特に御務め勉強致します。

景品賞品類
進物贈答品
恩賜賞與品
記念表彰品
各國産漆器

共榮漆器店
平町三丁目北裏通

店員募集
本年尋卒 仕着 小使月三圓
同高小卒 仕着 小使月五圓
外交員十八九才 仕着 小使月三十才迄

花柳外科 柳病科 科科
木村外科醫院
際橋目丁六町平
〇九三話電

市土産
魚屋
魚屋
魚屋

ウニヤキ
貝焼
子やまき

店理代平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電)目丁四平

夜 間
診 療

腸胃性病性
内科 皮膚科
胃腸病科 花柳病科
性病科 皮膚科

松村性病科醫院
(番〇七一電町南町平)

有給外務員招聘

商品日掛販賣の權威
平町南町一九
一徳合資會社平支店
出張所 四倉町本町九九
湯本町三函二〇四

▽日掛は金十錢以上金五十錢迄あります
▽六ヶ月以上御掛けに成れば一ヶ月前分前貸致します
▽一ヶ年御掛けに成れば年五分に相當する配當があります